

八丁堀駅周辺施設再編計画のコンセプトや整備の方向性について

エリア全体のコンセプト

本の森ちゅうおう(仮称)、桜川敬老館等複合施設の整備については、桜川公園を含めた「**出会い・発見・交流の舞台として、人々がふれあえる広場・空間**」と位置づけ、一体的な整備を行う。

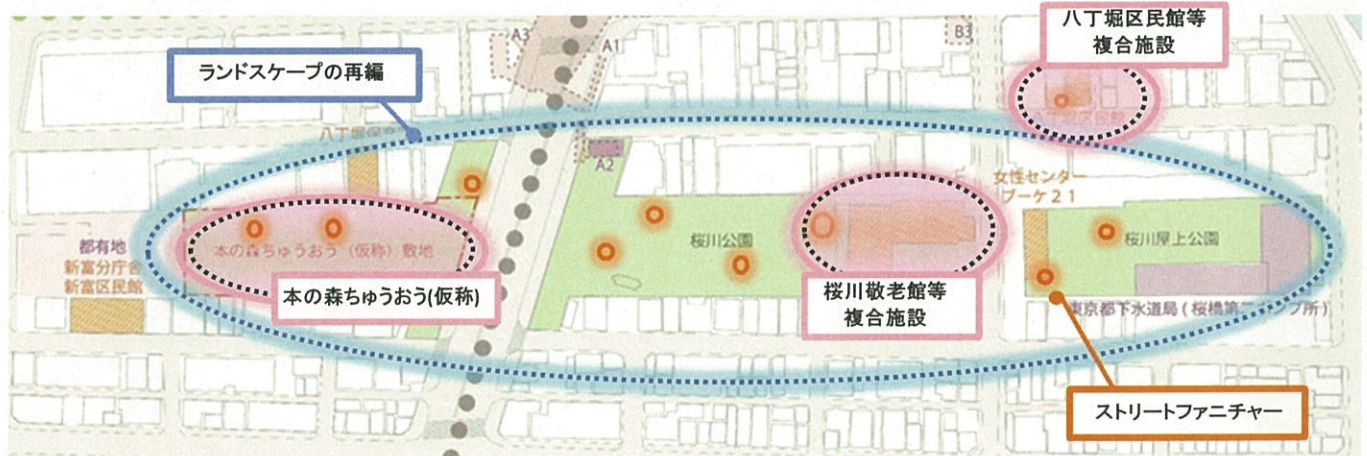
→ 『桜川ふれあいパーク(仮称)』

また、周辺の既存・新規公共施設及び桜川屋上公園等のオープンスペースも含めた各種公共機能の連携や統一性を高める整備を段階的に行い、エリア全体の公的サービスのさらなる充実を図る。

エリア全体コンセプトを実現する整備の方向性

エリア全体コンセプトを以下の3つの手法により実現し、各施設の連携やエリア全体の一体感を生み出す計画とする。

『桜川ふれあいパーク(仮称)』を中心にエリア全体が連携・充実するイメージ



エリア全体の3つの機能

- ※1 ランドスケープ
都市における景観や風景のこと
- ※2 ストリートファニチャー
屋外装置物(ベンチ・案内板等)のこと

1. 老若男女の生涯学習拠点

2. まなび・仕事・生活の舞台

3. 緑豊かな都市環境

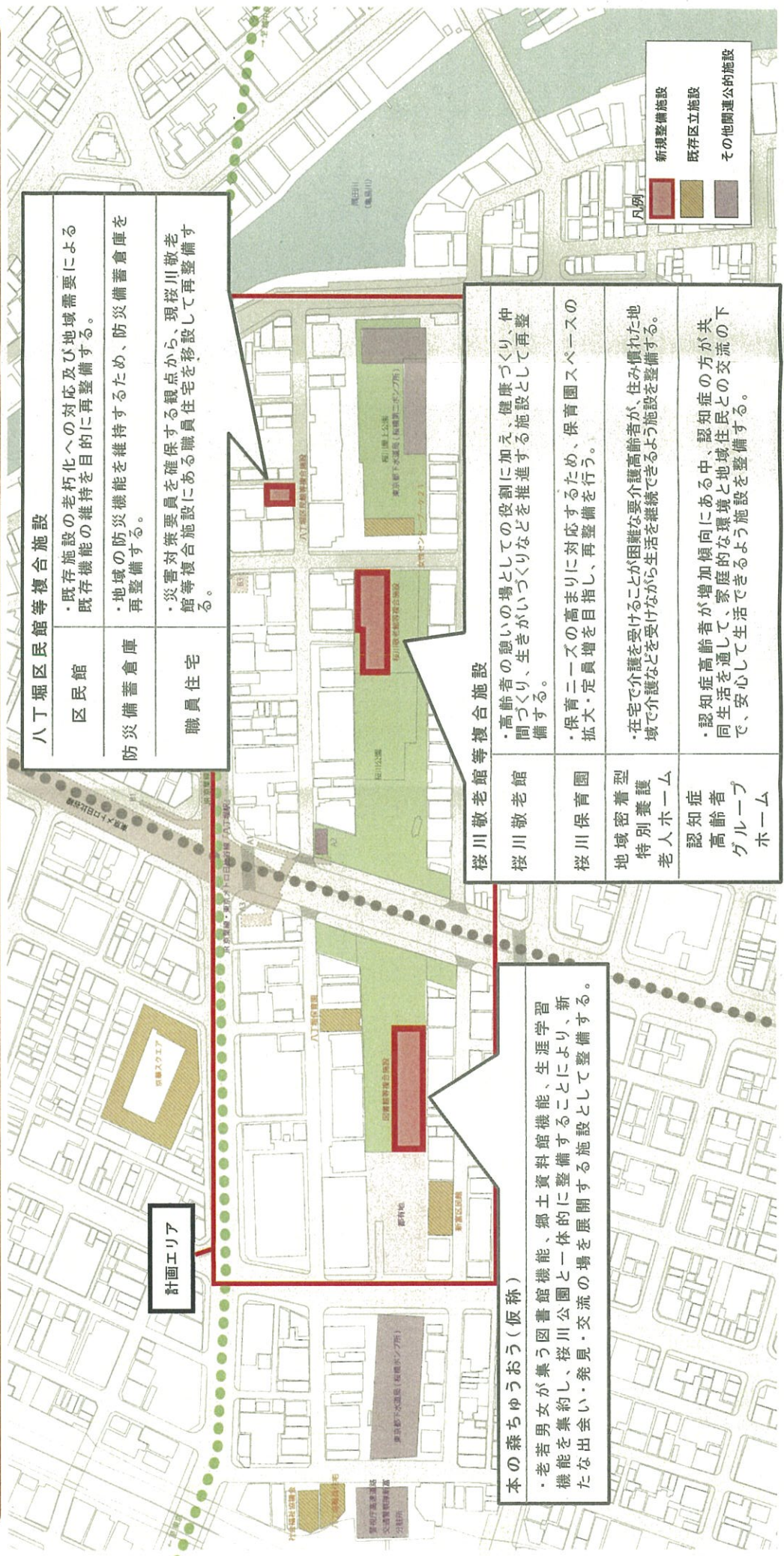
施設整備方針

- ① 環境配慮を施した施設づくり
- ② ユニバーサルデザインを徹底した施設づくり
- ③ 木材資源の利活用

※3 ユニバーサルデザイン: すべての人にとって使いやすい施設や環境

新規整備施設概要

- ・図書館等複合施設（本の森ちゅうおう（仮称））
：「図書館機能」「郷土資料館機能」「生涯学習機能」を集約。
：新たな出会い・発見・交流の場を展開する生涯学習の拠点として整備。
- ・桜川敬老館等複合施設
：「敬老館」「保育園」に加え、新たに「地域密着型特別養護老人ホーム」「認知症高齢者グループホーム」を整備。
：既存施設の老朽化への対応及び地域の行政課題の解決に向けた保育・高齢者施設を整備。
- ・八丁堀区民館等複合施設
：「区民館」「防災備蓄倉庫」「職員住宅」を整備。
：既存施設の老朽化への対応及び災害対策要員確保の観点から職員住宅との複合施設を整備。



八丁堀駅周辺施設再編計画スケジュール ＜予定＞

★開館(予定)

年度	2017年度 平成29年度	2018年度 平成30年度	2019年度 平成31年度	2020年度 平成32年度	2021年度 平成33年度	2022年度～ 平成34年度～
労働スクエア東京跡地 (敷地面積4,000㎡) 京橋図書館 郷土天文館 郷土資料館 (プラネタリウムを除く) 本の森ちゅうおう(仮称) ・京橋図書館 ・郷土資料館 ・生涯学習	設計		本体建設工事		★ 開館準備 引越	
桜川敬老館等敷地 (敷地面積1,933㎡) 桜川敬老館等複合施設 ・桜川敬老館 ・桜川保育園 ・地域密着型特別 養護老人ホーム ・認知症高齢者 グループホーム	設計		既存建物解体・本体建設工事		★	
桜川保育園 桜川敬老館 職員住宅		仮設建物 工事	仮設建物使用	仮設建物撤去	公園整備	
八丁堀区民館敷地 (敷地面積202㎡) 八丁堀区民館 八丁堀区民館等 複合施設 ・八丁堀区民館 ・防災備蓄倉庫 ・職員住宅			設計		★ 既存建物解体・本体建設工事	

八丁堀駅周辺施設再編計画『スケジュール』